



いとしま

2020
2月1日号
vol.3

ファミサポ通信



「幸せになりましょう」 心ほぐれる子育て論

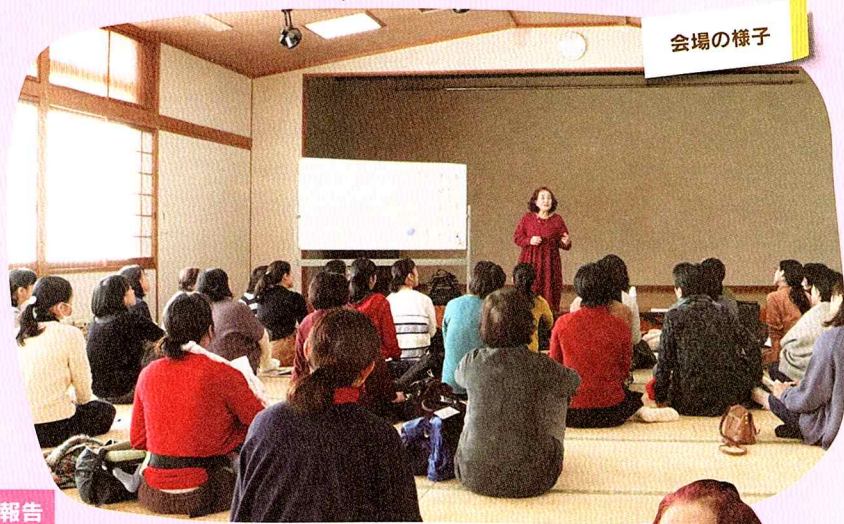
12月13日永野むつみ講演会・交流会報告

2019年12月13日、糸島市健康福祉センターあごらにて「人形劇団ひぼぼたあむ」代表、永野むつみさんによる講演会・交流会を開催しました。第2弾となる今回も会場は永野さんの優しい世界観に包まれ、笑いあり涙ありの心温まる講演会となりました。

永野さんは人形劇を見る時の子どもたちの様子を例に挙げ、子どもがアートに触れる大切さを語りました。「子どもはみんな他人の喜びや痛みを理解する力を持っている。気持ちを表現するすべを持たないだけ。アートに触れるのは、一人の人格として向き合える時間もも



講演を聴く参加者の皆さん



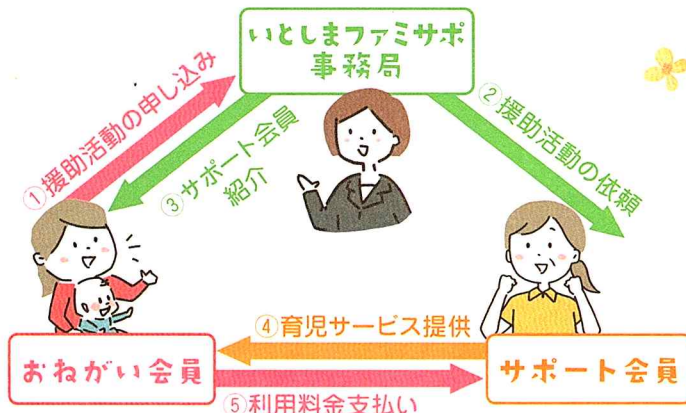
会場の様子

つこと」と永野さん。昔に比べて少なくなった自然と時間にとって代わるものが、アートだと伝えました。そして「子どもは2つの価値観の下で育てるべき」と述べ、「一人での子育てではなく他人の力を借りることが大切だ」と呼び掛けました。

次々と飛び出す永野さんの子育て論。ユーモアと臨場感あふれる語りを引き込まれ、参加者の皆さんも大きくなずきながら聞き入っていました。講演後のグループトークでは、感じたことや自分の育児話などで大盛り上がり。明るく晴れやかな表情で感想を語り合いました。

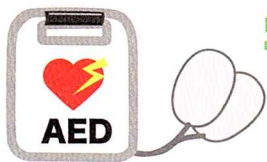


人形劇団ひぼぼたあむ
代表 永野むつみさん



ファミサポとは？

子育ての援助をしてほしい人(おねがい会員)と子育ての援助をしたい人(サポート会員)が会員となって、子どもの預かりなど、一時的に子育てを助け合う有償ボランティア事業を行っています。昔に比べて希薄になってきた地域の仲を取り持ち、「地域での子育て」を目指しています。



安心・安全な活動のために

救命講習



いとしまファミサポでは、サポート会員になるには救命講習の受講が必須となっています。10月のサポート会員講習会でも救命講習を行いました。救急救命士の指導の下、緊急の際、救急車が来るまでの約8分間にできることを実習しました。



胸骨圧迫は続けたままでAEDのパッドを貼りましょう

いつ起こるか分からない緊急時に備えて、人形を使っての心肺蘇生法やAEDの使い方、誤飲時の応急処置などを学びました。救命処置の方法も変わることがあり、いざというときに落ち着いて対

応できるよう繰り返しの受講が大切です。

2020年度よりサポート会員には、年に1回は救命講習を必ず受講してもらうようになります。サポート会員スキルアップ講習会で実施する予定です。『安全・安心』のために受講をお願いします。



気道を確保するために顎をあげて



赤ちゃんの応急処置の様子

ファミサポ職員紹介

はじめまして

2019年9月よりアドバイザーをしています南里智美です。サポート会員だったので、ご存知の方もいらっしゃるかと思います。私が担当しましたお子さんたちお元気でしょうか？元気で大きくなっていることと思います。親しみやすく相談しやすいアドバイザーを目指して頑張ります。気軽に声を掛けていただければと思います。よろしくお願いいたします。



なんり ともみ
南里 智美

ご報告

アドバイザーの立谷が10月27日、男の子を出産しました。母子ともに健康とのこと。復帰を楽しみにしていただいね。



活動紹介

いとしまファミサポでは、「おねがい会員登録会」や、サポート会員になるための「サポート会員講習会」のほか、会員や一般の方に向けたイベントを実施しています。ここでは、その活動をご紹介します。

サポート会員スキルアップ講習会

2019年11月19日
糸島市健康福祉センターふれあい



講師の今村チフミさん

子育て支援センター療育支援員の今村チフミ先生を招き、多様な子どもの受け入れ方について学びました。子どもはもちろん、保護者と関わる時に心掛けていることなど具体的な内容の話がありました。後半は会員の皆さんの体験をもとにグループワークを実施しました。テーマはヒヤリハット。子どもを預かっている時や自分の子育て中にヒヤリとしたことや、ハットしたことなどの事例を出し合いました。今後も定期的にヒヤリハットについては講習会で取り上げる予定です。



感覚の違いを理解するために、隣の人とハグ！

お預かり
事例紹介

夫婦二人三脚でお預かり
子どもとの時間を楽しみながらサポート



磯本 正代さん

取材日：2019年11月8日

転勤族だった磯本正代さんは、近くに身内がない中で3人の子育てを経験。その大変さがよく分かり「自分が預かることで役に立てたらいいなあ」との思いからサポート会員に登録しました。

正代さんがサポートしたのは、上の子の幼稚園行事などがあったお母さん。下の2歳の女の子を自宅で3回お預かりしました。女の子が持って来たおままごとセットで遊んだり、スイレン鉢のメダカにえさをあげたり。近くの神社へ散歩に出かけたこともあります。

「お預かりを始める前はマンションという狭く限られた環境で子どもがのびのび過ごせるか自信がなかったです。部屋は

できるだけ開放し、子どもの意思を尊重して、安全に自由に過ごせるようにしています」と話しました。

女の子がお弁当を持参すると聞き「『お父さん』と私の昼ご飯も、お弁当に入っていそうな卵焼きなどを準備して3人で食べました」と正代さん。「お父さん」とは夫の正則さんのことです。どんぐりやセミの抜け殻は、正則さんが「子どもが来たとき喜ぶかな？」と拾って来ました。メダカも近くの小川ですくってきたそうです。正則さんは正代さんのサポート活動にとても協力的で、夫婦そろって次のお預かりを楽しみにしています。

会員の声

ファミサポ
利用しました



おねがい会員

夫は単身赴任でいつもは母子二人。他の人に懐かず自分にべったりな子なので預けても大丈夫かと心配しましたが、とてもうれしそうに帰ってきました。帰宅後もお預かりでの出来事を楽しそうにずっと話していました。またお願いしたいです。

おねがい会員

利用する前、子どもを知らない人に預けることがとても不安だったので、2名のサポート会員さんとマッチングしてもらい予備利用してみました。預けることへの不安を解消して利用でき、本当によかったです。

ファミサポで
援助活動しました



サポート会員

顔合わせで、子どもの好きなものを聞いておいたので、それに関する本を図書館から借りてきました。当日も興味のある本がたくさんあって楽しめた様子でした。少なかった家族の会話も、お預かりをきっかけに増えました。

サポート会員

初日は不安そうに泣いてばかりでしたが、2回目からは泣くのは最初だけで、走り回って楽しそうに遊んでいました。2歳の元気な男の子で「一日中子どもと一緒にのお母さんは大変だな」と実感しました。

ファミサポ Q & A

このコーナーは、会員の方からよくあるご質問にお答えします

Q 学級閉鎖や台風などで学校・保育施設が閉鎖している時のお預かりはできますか？

A できません。インフルエンザなどによる学級閉鎖では、お子さんが罹患していなくても保菌の可能性があります。また、台風など災害の恐れのある時は、お子さんや会員皆さんの安全確保のため受け付けできません。たまたま援助活動の予定日だった場合は、警報や避難勧告・指示等が発令された時点で、相互援助活動は中止となります。この場合、キャンセル料はかかりません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



Q 保育園へのお迎えなど、当日の急な依頼もできますか？

A 当日の依頼はできません。事故を防ぐためにも依頼予定日の前日17時までにお電話にてお申し込みください。また初めての方とは顔合わせが必要となります。お早めの申し込みをお願いします。



2020年 行事予定

- 2月6日(木)……………おねがい会員登録会／糸島市健康福祉センターあごら
 2月20日(木)、21日(金)、25日(火)、26日(水)… サポート会員講習会／糸島市交流プラザ志摩館
 3月11日(水)……………おねがい会員登録会／糸島市交流プラザ志摩館

※サポート会員講習会はサポート会員になるための講習会ですが、現サポート会員の方もフォローアップとして受講可能です。参加希望の方はお申し込み下さい。
 ※変更になる可能性もありますので、詳しくはホームページで確認いただくか、お電話でお問い合わせください。
 ※2020年度の行事予定は、次回5月号でお知らせする予定です。

主な援助活動内容

※利用回数の多い順

- ① 保育施設の保育開始前や終了後の送迎と預かり
- ② 保育施設までの送迎
- ③ 保護者の病気、急用等の場合の預かり
- ④ 保護者のリフレッシュ、習い事時の送迎と預かり
- ⑤ 保護者や他の子どもの通院・健診の際の預かり
- ⑥ 学習塾や習い事までの送迎
- ⑦ 他の子どもの学校行事の際の預かり
- ⑧ 学校、幼稚園、保育所の休みの時の預かり

会員数 おねがい会員……181名
会員総数 256名 サポート会員……66名
(2019.12月末現在) どっちも会員……9名

みなさん、こんな時に利用されています！

- ▶ 仕事が朝早いため、開所時間までサポート会員宅でのお預かりと保育施設への送り
- ▶ 残業の際に、保育施設へのお迎えと子ども宅への送り
または、お母さんが帰って来るまでサポート会員宅でお預かり
- ▶ いつも保育施設に送迎してくれる家族が入院した際、その間の送迎
- ▶ 土曜日、両親ともに仕事が休めない時のお預かり
- ▶ 退院後、体調がもとの戻るまで定期的にお預かり
- ▶ 資格取得の勉強で、自分の時間を確保するために…
- ▶ ずっと向き合ったままの育児の息抜きに
- ▶ 仕事のお母さんに代わって学童から習い事教室までの送り

ファミサポからのお知らせ

チャイルドシート使っていますか？

道路交通法では、6歳未満の子どもを乗車させる際に、チャイルドシートの使用が義務付けられています。使用しないと違反点数1点の罰則が科せられます。お子さんの命を守るため、おねがい会員もサポート会員もチャイルドシート使用の徹底をお願いします。



不要のチャイルドシートお譲りください！

いとしまファミサポでは、相互援助活動時のチャイルドシート貸出を行っています。現在チャイルドシートとジュニアシートが1台ずつしかありません。ご家庭で不要になったチャイルドシートはありませんか？お電話の上、センターまでお持ちいただくと助かります。ご協力よろしくお願いたします。

- ★ 料金を支払う時に使用する「領収袋」のおもて面のみ、ホームページからダウンロードできるようになりました。
- ★ 相互援助活動が終わったら、おねがい会員はサポート会員の記入した「相互援助活動報告書」をチェックし、必ずサインと押印を。サポート会員はおねがい会員から料金を受け取ったら、領収袋にサインまたは押印をお願いします。どちらも重要な書類です。

LINE@でも情報発信しています

おねがい会員用、サポート会員用がありますので、それぞれ登録おねがいます。

おねがい会員の方へ



- 預かり・送迎などの援助の依頼は、必ず「おねがい会員」がセンターに電話してください(前日17時まで受付可能)。事前にセンターに連絡せずに行われた援助活動には保険が適用されません。
- 初めて依頼されるときは、サポート会員とのマッチングや事前の顔合わせが必要になりますので、日程に余裕をもって依頼してください。

サポート会員の方へ



- 相互援助活動報告書は活動日の翌月3日までにセンターへ提出してください。同じ月に複数回活動された場合はその月の報告書をまとめて提出していただいて構いません。

すべての会員の方へ

- パソコンからの受信可能なメールアドレスをお持ちの方は、登録をお願いします。講習会や交流会のお知らせ等に使用させていただきます。

【メールアドレスの登録方法】 info@itofamisapo.com宛てに、会員番号と氏名を記載して、メールを送信してください。

なお、携帯やスマホの迷惑メール対策をしている方は、メールが届かないことがあります。ファミサポのメールアドレスを受信可能に設定してください。



糸島市ファミリーサポート(いとしまファミサポ)
 〒819-1392 糸島市志摩初30 糸島市交流プラザ志摩館3F
電話・FAX 092-332-8717
 相談窓口/月曜～土曜 10:00～17:00
 メール: info@itofamisapo.com
 ホームページ: https://www.itofamisapo.com

